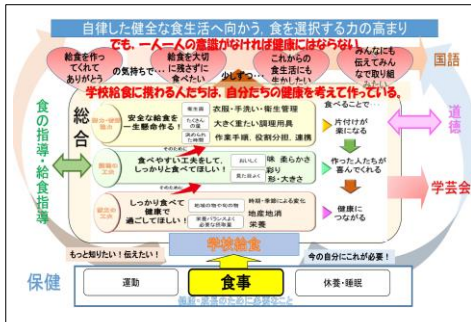


令和元年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕		
プロジェクトの名称	食を選択する力を育む探究学習のモデル開発 —給食指導と総合的な学習の関連付け—		
報告者氏名・所属・職名	鎌田 尚吾・附属函館小学校・教諭		
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	野村 恵・附属函館小学校・栄養教諭 阿部 智・附属函館小学校・教諭 阿保裕也・附属函館小学校・教諭 松下裕幸・附属函館小学校・教諭 山城佳美・附属函館小学校・教諭 市川友香・函館市立鍛神小学校・教諭 遠藤哲史・函館市立磨光小学校・教諭 平泉あすか・函館市立鍛神小学校・栄養教諭 山口好和・北海道教育大学函館校・准教授	村田友美・附属函館小学校・養護教諭 酒谷明子・附属函館小学校・教諭 上田知沙都・附属函館小学校・教諭 石崎寿和・附属函館小学校・教諭 林 聖・函館市立弥生小学校・教諭 笹森将志・函館市立鍛神小学校・教諭 藤田 愛・函館市立湯川小学校・教諭 五十嵐義幸・附属函館小学校・副校長	
研究内容及び成果の概要	<p>学校では、社会の変化に伴う子供の食を取り巻く状況の変化に対応し、食育を一層の推進していくことが求められている。本研究では、「自らの食の状況を適切に評価するとともに、必要な情報を収集し、健全な食生活を実現するために何が必要かを考え、適切に意思決定し、行動するために必要な力を身に付ける」という食育の意義と、総合的な学習の時間の本質である「探究的な学習」の共通性に着目した。そして、学校給食を基盤としながら、子供の「食を選択する力」を育成する单元モデルの作成を目的とした。</p> <p>学級担任の給食指導や栄養教諭による食の指導を、総合的な学習と関連しながら行うとともに、作成したルーブリックや実際に記録した子供の姿、記述をもとにプロジェクトチームで分析をした。それらにより、課題設定やまとめ・表現における他教科等との関連（保健や国語）や、概念形成を図るための食の指導や道徳との関連について明らかにし、学校給食を探究課題とした「食を選択する力」を育む单元の概念モデルとしてまとめた（図1）。</p> <p>また、構築したモデルを函館・渡島の各研究会と交流・連携し函館市の各学校へ発信したり北海道内で発表したりしながら、取組を広げる活動を行った。食と関連したプログラミング的思考を育成するモデル構築についてもさらに追究していきたい。</p>		
			
成果の公表の状況	<p>【紀要等】 函館市生活科・総合的な学習教育研究会「令和元年度研究紀要」（2020年3月,ISSN 2435-4716） 函館市生活科・総合的な学習教育研究会「リーフレット令和2年3月号」（2020年3月，4ページ）</p> <p>【学会発表】 鎌田尚吾「食を選択する力を育む探究学習のモデル開発 —給食指導と総合的な学習の関連付け—」（函館学校教育学会第25回年会，2020年1月） 鎌田尚吾・山口好和「プログラミング的思考を育む総合的な学習の单元開発とモデル化」（日本教育工学会研究会，2020年5月予定） 鎌田尚吾・山口好和「概念形成を支える单元構成と学習環境の工夫—子供の思考活動を手がかりに一」（日本生活科・総合的な学習教育学会第29回全国大会・山梨大会2020，2020年6月予定）</p> <p>【学術論文】 鎌田尚吾・山口好和『北海道教育大学紀要』掲載予定(2020年8月予定)</p>		
教育現場で活用可能な分野・教材等	食育や総合的な学習の時間を中心として、授業開発のために現職教員が研修を行う際に利用可能である。		
配布又はダウンロード可能な資料	・冊子体（研究紀要20部，リーフレット30部），CD-R（30枚） ・函館市生活科・総合的な学習教育研究会ホームページ(https://hakodate-seisou.jimdofree.com/) ・函館市生活科・総合的な学習教育研究会アーカイブページ(https://hakodate-seisou-archive.jimdofree.com/)		
問合わせ先	代表者：鎌田 尚吾 Tel : 0138-46-2235（附属函館小学校） Fax : 0138-47-7376（附属函館小学校） Mail : kamada.shogo@h.hokkyodai.ac.jp		